

第1回 CNSI-RIEC ナノエレクトロニクス・スピントロニクス・フォトンクスに関する国際ワークショップ（第4回スピントロニクス国際ワークショップ）

The 1st CNSI-RIEC Workshop on Nanoelectronics, Spintronics and Photonics (The 4th RIEC International Workshop on Spintronics)

開催日：平成20年10月9日（木曜日）～10日（金曜日）（2日間）

開催場所：カリフォルニア大学サンタバーバラ校カリフォルニアナノシステムインスティテュート

平成20年10月9,10日の2日間にわたり、カリフォルニア大学サンタバーバラ校(UCSB)カリフォルニアナノシステムインスティテュート(CNSI)において、第1回 CNSI-RIEC ナノエレクトロニクス・スピントロニクス・フォトンクスに関する国際ワークショップ（第29回電気通信研究所（通研、RIEC）国際シンポジウム、第4回スピントロニクス国際ワークショップ）が開催されました（組織委員長：大野英男教授（通研）、David Awschalom 教授（UCSB））。通研が世話部局となって結ばれた東北大学と UCSB の協定に基づき、通研附属ナノ・スピン実験施設のナノエレクトロニクス国際共同研究拠点創出事業の一環として、通研と CNSI が主催し、本学電気情報系 GCOE プログラム「情報エレクトロニクスシステム教育研究拠点」が共催した本ワークショップは、両大学が世界最先端の研究成果を誇るナノエレクトロニクス、スピントロニクス、フォトンクスの3分野において研究連携をさらに深める目的で企画されました。2日間にわたり本学から口頭8件、ポスター11件、UCSB から口頭7件、ポスター8件の発表があり、ダイヤモンドにおける単一スピンのコヒーレント操作など3分野における最新の研究成果が紹介され、活発な討論及び情報交換が行われました。ワークショップ最終日にはナノテクノロジー拠点である CNSI の見学も企画されました。今後の両大学の連携によって一層の研究の進展が期待されることから、第2回のワークショップの開催（平成21年10月22,23日、通研）も決定しております。末筆ではありますが、本ワークショップ開催にあたり、ご支援を賜りました各位に心より御礼申し上げます。